

病防第16号の5
平成28年8月31日

各 { 関係機関の長
市町村長（農務関係課）
農業協同組合長
農業共済組合長
病虫害防除員 } 様

岐阜県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報（地区情報）の送付について

別紙のとおり予想されますので、指導上の参考にしてください。

記

平成28年度 病虫害発生予察情報（美濃地域） 9月予報

所 属	岐阜県病虫害防除所 防除指導係		
係 長	桑 原	担 当	佐 藤
TEL	058-239-3161（直通）		
FAX	058-234-0767		

平成28年度 病害虫発生予察情報(美濃地域) 9月予報

【大豆・野菜類】

ハスモンヨトウ

フェロモントラップへの誘殺は各地域で平年より多く推移しています(図1~3参照)。また、8月下旬調査の結果、大豆ほ場で若齢幼虫による白変葉を確認しています。今後も発生量の増加が予測されるため、ほ場での発生状況に注意し、効果の高い若齢幼虫期に防除を実施してください。

【大豆】

カメムシ類

西濃地域では、予察灯によるミナミアオカメムシの誘殺数が昨年より多く認められています。また、8月下旬の大豆調査では、加害種であるイチモンジカメムシの飛来が確認されています。今後、着莢期から子実肥大期に防除を実施してください。

【野菜類】

トマト灰色かび病

8月上旬の天候不順により、葉先枯れ部等に発病が確認されました。今後、曇天が続くと、罹病部位から果実に感染が拡大すると予想されます。そのため、罹病部位や花がら、葉先枯れ部は伝染源となるため早めに取り除き、ほ場外へ持ち出し処分してください。

○主な病害虫の発生時期及び防除時期(9月)

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1旬	2旬	3旬	4旬	5旬	6旬	
水稲	生育(岐阜市)	並							・ハツシモ(普通植)
	穂 いもち	並	<最盛期>						・ 穂いもち 穂ばらみ期~穂ぞろい期に防除を実施する。
	トビイロウンカ	少							・ ツマグロヨコバイ 幼虫最盛期に防除を実施する。
	ツマグロヨコバイ	やや少			<幼虫最盛期>				・ 斑点米カメムシ類 穂ぞろい期~乳熟期に防除を実施する。
	斑点米カメムシ類	並	本 田 へ の 侵 入 (出 穂 以 降)						
防 除 適 期			▲	~	▲	穂いもち・ウンカ類・ツマグロヨコバイ			
大豆	カメムシ類	多	<本ほへの侵入(着莢期以降)>						・ カメムシ類 着莢期から子実肥大期に防除する。
	ハスモンヨトウ	多	<発生量増加>						・ ハスモンヨトウ 白変葉が散見されるようになったら直ちに防除する。
	防 除 適 期								
カキ	ハマキムシ類	岐阜西濃	やや多			<第4世代幼虫>			・幼虫発生初期の防除を徹底する。
		中濃	やや少				<第4世代幼虫>		・着色始期までに防除を実施する。
防 除 適 期									
ナシ	黒星病	やや多				<発生量増加>			・ 黒星病 収穫後の秋期防除を徹底する。
	防 除 適 期						▲黒星病	~	
果樹	カメムシ類	並	<新世代成虫>						・飛来が認められる場合は直ちに防除を実施する。
	防 除 適 期								
野菜・花き類	灰色かび病	やや多	<発生量増加>						・同一系統薬剤の連用は避ける(薬剤耐性および抵抗性の発達)。
	ハスモンヨトウ	多	<発生量増加>						・ 灰色かび病 花がらや葉先枯れは感染源となるため取り除く。
	タバコガ類	やや多	<発生量増加>						・ ハスモンヨトウ・タバコガ類 若齢幼虫期の防除を徹底する。
	コナジラミ類	やや多							・ コナジラミ・アザミウマ類 施設栽培では虫媒性ウイルスへの感染防止のため、防虫ネット展開による侵入防止と定植時の粒剤施用を徹底する。
	防 除 適 期								

注1) ▲、▲~▲ : 防除適期
注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

ハスモンヨトウ (大豆)

各地域に設置したフェロモントラップでの誘殺数は調査開始から平年より多く、また、若齢幼虫の食害による白変葉は、8月下旬調査で確認しました。今後の気象は、降水量は多いものの、高温が続くと予報され、本虫の発生に好適な条件が続きます。

ほ場での発生状況に十分注意し、若齢幼虫期に防除を実施してください。

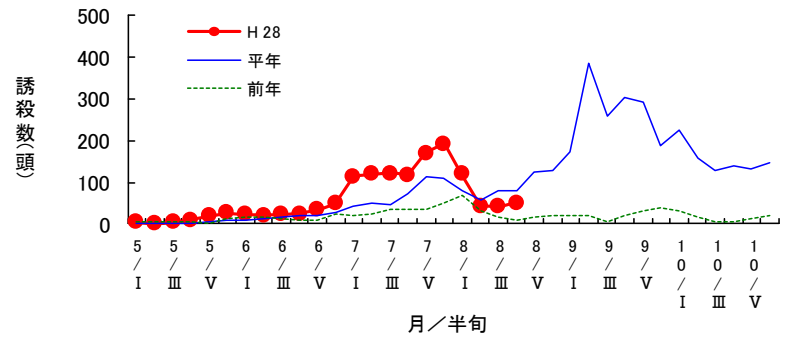


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺数の推移 (海津市平原)

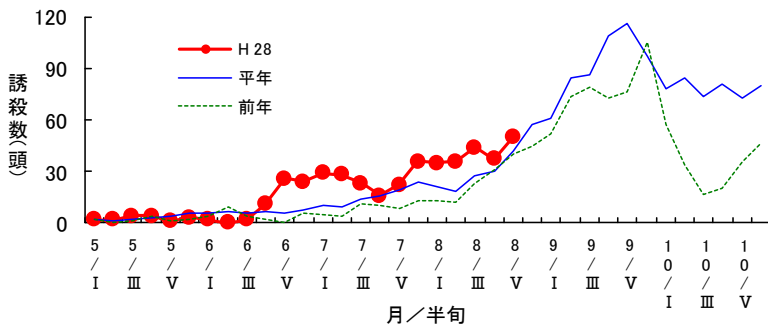


図2 フェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺数の推移 (可児市川台)

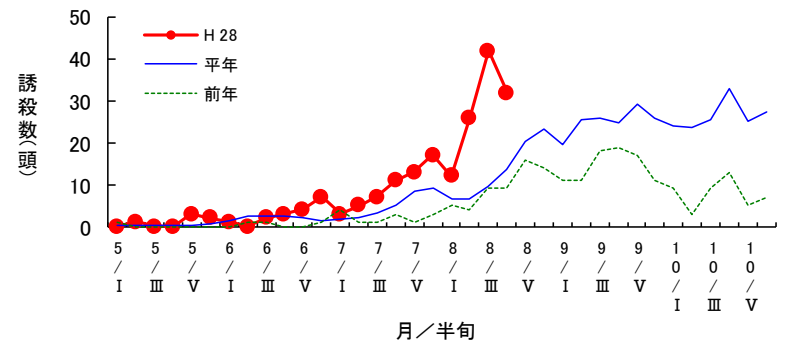


図3 フェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺数の推移 (中津川市福画)

ミナミアオカメムシ (大豆)

本年、春先の小麦ほ場のすくい取り調査でミナミアオカメムシが確認され、西濃地域に設置した予察灯にも多く誘殺されています。

本虫は、寄生範囲が広く、春にはアブラナ科雑草や麦に、夏にはオクラなどの野菜や出穂後の水稻を加害します。

大豆では、子実を吸汁する他のカメムシ類と同様に、着莢期から成虫がほ場へ飛来し、吸汁しながら産卵を行います。本虫は他のカメムシ類と比べて吸汁量が多く、多発すると莢の脱落・青立ち・変形粒の発生により被害が拡大します。成虫は莢の伸長後期から子実肥大中期を最も好むことから、着莢期から子実肥大期の防除を確実に実施してください。



写真：ミナミアオカメムシ

*その他、大豆の主な加害種はアオクサカメムシ、ホソヘリカメムシ、イチモンジカメムシ、ブチヒゲカメムシです。

※大豆の吸実性カメムシ類 (ミナミアオカメムシ類(大豆)) 及びハスモンヨトウについては、岐阜県病害虫防除所 HP にある「病害虫図鑑」も参考としてください。

http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/index_63587.html

農薬の安全使用に努めましょう！！

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

東海地方1カ月予報 (名古屋地方気象台 8月25日発表)

向こう1カ月の天候は、気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並となる見込みです。天気は、数日の周期で変わる見込みです。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/index_12132.html

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767